

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 0 号
件 名	B R T (バス高速輸送システム) 中止に関することについて
要 旨	<p>昨年の市長選挙においてB R T運行に中止及び白紙撤回の公約をした候補が合計64%得票。これに対して賛成候補は36%でした。</p> <p>また、新潟市が行った第1回反復型意識調査では、60%の反対で賛成はたったの14%でした。その後第2回、第3回と行うようですが、反対は簡単に減らないと思いますし、反復型意識調査の趣旨は賛否を求めるものでないとなつていますが、結果的には賛否になりますので趣旨がわかりません。</p> <p>また、ある会派は50%以上の賛成を得る努力するよう求めましたが、簡単ではないと思います。さらに、B R Tに投資する金額は現在わかっているのは70億円(新潟市は35億円)ですが、赤字になる予想ですから新潟市が負担しなければなりません。</p> <p>議員の皆様、市民が反対しているのに公金を使うことはよろしいですか。市長は、市民が反対でも導入するつもりのものであることは、税金は市民が納めているのだから、市民の代表である議員は阻止しなければなりません。</p> <p>今まで、本会議等でB R Tは賛成していますが、以上述べましたようにいろいろな状況があり、今回は議員皆様の良心で陳情に賛成していただき、B R Tの中止をお願いし下記事項を陳情します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 B R Tは中止すること。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 27 年 2 月 18 日 環境建設常任委員会
受 理	平成 27 年 1 月 26 日 第 5 9 2 号